

3 駅周辺の将来像（まちづくりの基本的な考え方）

（1）駅周辺の将来像

**身近に自然を感じ、みんなが心地よい時間を過ごせる、
安全で快適なまち**

身近に自然を感じ

「都市計画マスタープラン」において、愛甲石田駅の立地する南毛利地域の基本目標の一つに、『水と緑に触れ合う自然環境を大切にしたまちづくり』があります。

現況をみると、南毛利地域は、河川に沿って開けた平地、台地及び丘陵地を有しており、玉川やその周辺の田園、大山、斜面緑地など、豊かな自然環境に恵まれています。

アンケートや地元市民組織の意見においても、「駅付近からの大山の眺望」など、自然環境に関する満足度は高くなっていることから、生活の中で身近に自然を感じることができ環境を目指したまちづくりを進めます。

みんなが心地よい時間を過ごせる

「都市計画マスタープラン」において、駅周辺は、『地域の生活を支える商業・業務等の都市機能の集積を図る』としています。

現況をみると、愛甲石田駅は、地域住民や周辺企業に通勤する人の交通結節点*となっていますが、駅周辺にそれらの人が交流する場や日常の買い物ができる施設が少ない状況です。

アンケートや地元市民組織の意見においても、「駅前の商業施設や店舗」「行政サービス施設（公共施設）」「公園等のオープンスペース」の立地に関する満足度が低く、重要度も高くなっていることから、駅周辺においてみんな（地域の人、働く人、訪れる人）が過ごしたくなる心地よい滞留空間づくりを目指したまちづくりを進めます。

安全で快適なまち

「都市計画マスタープラン」において、駅周辺は、『駅へのアクセス性を高める周辺道路整備や快適で円滑な乗り換えが可能となる交通結節機能の充実を図る』としています。

現況をみると、愛甲宮前交差点を中心とした交通混雑や駅舎での混雑、駅前広場利用等が課題として挙げられます。また、現在、駅周辺では土地区画整理事業が進み、自動車交通量や駅乗降客数の増加が見込まれています。

駅周辺では、災害時の一時滞在スペースがないなど、防災機能の強化も必要です。

アンケートや地元市民組織においても、「駅・駅前広場への自動車でのアクセス」や「安全な歩行空間の確保」、「災害時の帰宅困難者向け一時滞在スペース」に関する意見が多くなっていることから、交通機能、防災機能の強化・充実により、安全で快適なまちを目指したまちづくりを進めます。

〇まちづくりビジョン（目標）

駅周辺の将来像を構成する柱となる3つの「まちづくりビジョン（目標）」を設定し、これらの柱に基づくまちづくりを推進することで、将来像の実現を目指します。

3つのまちづくりビジョン（目標）

① 魅力があり、時間を過ごしたくなるまち

魅力ある施設の立地促進、まちの顔となる駅まち環境の整備などにより、時間を過ごすことができる、過ごしたくなるまちを目指します。

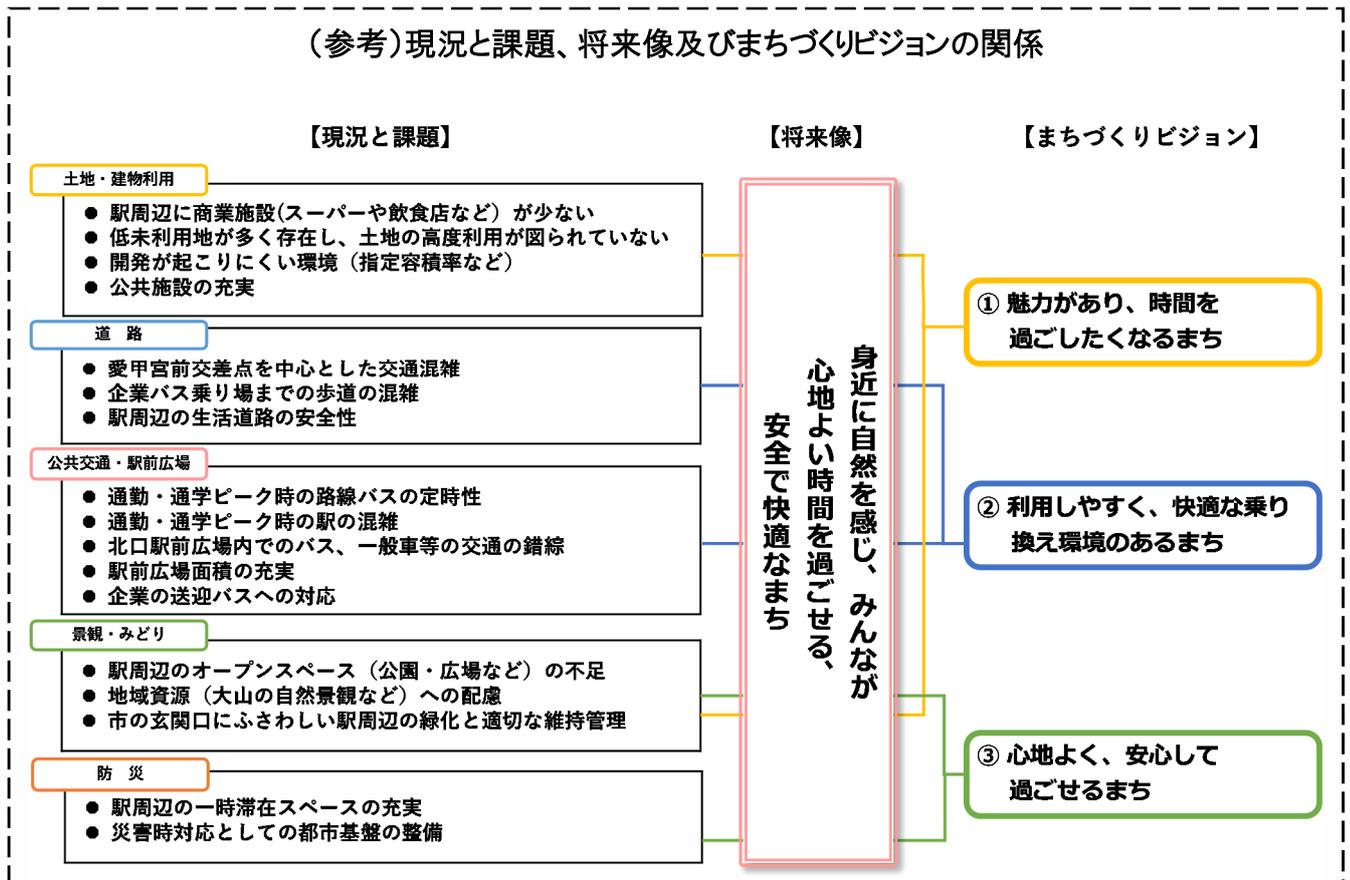
② 利用しやすく、快適な乗り換え環境のあるまち

駅周辺の交通混雑の改善、バリアフリー化の促進、駅前広場の整備などにより、誰もが利用しやすいまちを目指します。

③ 心地よく、安心して過ごせるまち

みどりの充実、一時滞在スペースの確保などにより心地よく、安心して過ごせるまちを目指します。

（参考）現況と課題、将来像及びまちづくりビジョンの関係



（2）駅周辺に望まれる機能

まちの現況と課題、アンケート調査結果等を踏まえた、駅周辺の将来像を実現するために充実することが望まれる機能は、次のとおりです。

機能	内容	用途などの例
商業・業務機能	「コンパクト・プラス・ネットワーク推進計画」で誘導すべき機能である大規模小売店舗、アンケート調査結果の上位である飲食店など、駅周辺の利便性や魅力を高める商業・業務機能の誘導。	・大規模小売店舗（スーパーなど） ・飲食店 ・銀行 ・オフィス、会議室 など
交通機能	駅とまちをつなぐ快適な駅前広場の整備、エレベータ等によるバリアフリー化の推進、歩行者デッキによる利便性の向上、送迎バス乗降場の集約化など、快適な乗り換え環境の実現に向けた交通機能の充実。	・駅前広場 ・エレベータ、エスカレータ ・歩行者デッキ ・送迎バス乗降場 など
公共・公益機能	公園・広場などのオープンスペース、駐車場・駐輪場、図書施設、子育て支援施設など、駅周辺の利便性を高める公共・公益機能の充実。	・市役所連絡所 ・公園・広場 ・駐輪・駐車場 ・図書施設 ・子育て支援施設 など
防災機能	災害時に利用できる安全な広場等の整備及び防災備蓄倉庫などの防災機能の充実。	・一時滞在スペース ・防災備蓄倉庫 など
教育・文化機能	「コンパクト・プラス・ネットワーク推進計画」で誘導すべき機能である各種学校、ホールなど、教育・文化機能の誘導。	・各種学校 ・ホール など
居住機能	居住者の生活を守り、居住環境の維持・向上を図るため居住機能の充実。	・共同住宅 ・戸建て住宅



商業・業務機能



交通機能



公共・公益機能



防災機能



教育・文化機能



居住機能

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

駅周辺の将来像（まちづくりの基本的な考え方）

（3）将来像が示すまちのイメージ

現在は、主に地域の人と働く人が目的地までの経路地として利用するまちとなっていますが、将来は、駅周辺に望まれる機能の充実・連携を図り、交流・滞留空間を創出し、みんなが心地よい時間を過ごすことができるまちを目指します。

現在

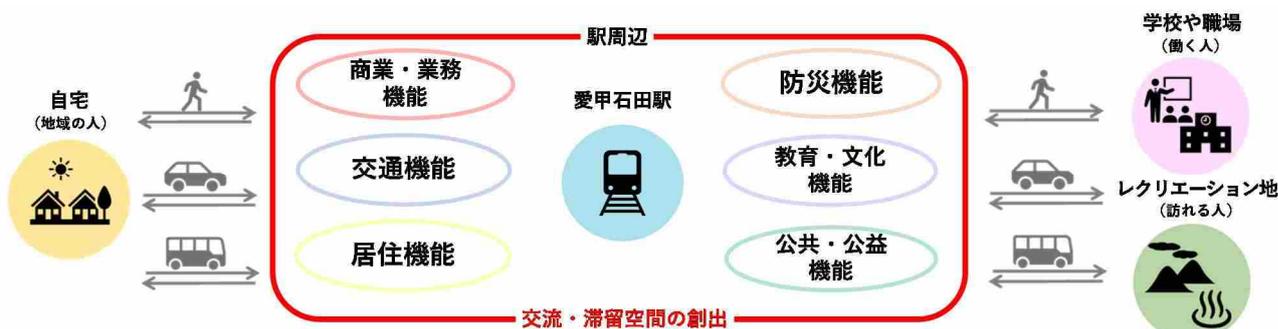
地域の人と働く人が経路地として利用するまち



経路地として利用するまちから、
心地よい時間を過ごすことができるまちへ

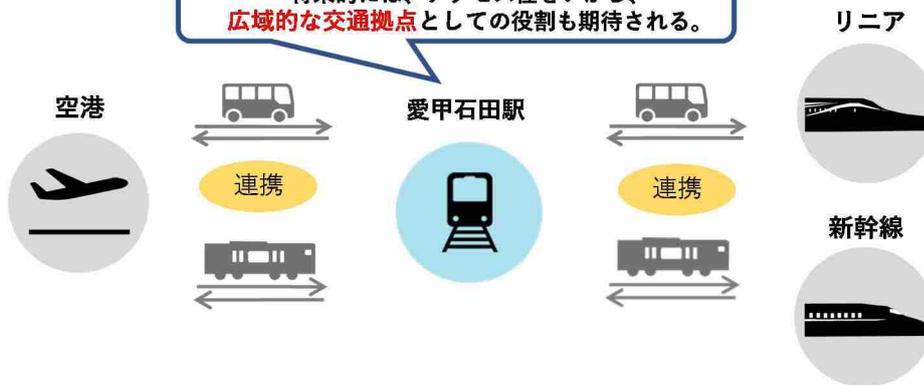
将来

身近に自然を感じ、みんなが心地よい時間を過ごせる、安全で快適なまち（将来像）



（参考）将来の広域交通ネットワーク

将来的には、アクセス性をいかに、
広域的な交通拠点としての役割も期待される。



将来像が実現したら・・・

駅周辺に来て・・・

- カフェでお友達とお話ししながら過ごせます。
- コミュニティスペースで地域教室に参加できます。



家へ帰る途中に・・・

- 雨でも濡れずにスーパーなどで食材や日用品を購入できます。
- 本や雑貨などのちょっとした買い物ができます。



待ち時間に・・・

- ベンチで座って本を読みながら待つことができます。
- 隙間時間に勉強や仕事を進めることができます。



駅へ来るときは・・・

- 交通混雑がなくスムーズに駅まで行けます。
- 歩道が広く、バリアフリーで歩きやすいです。

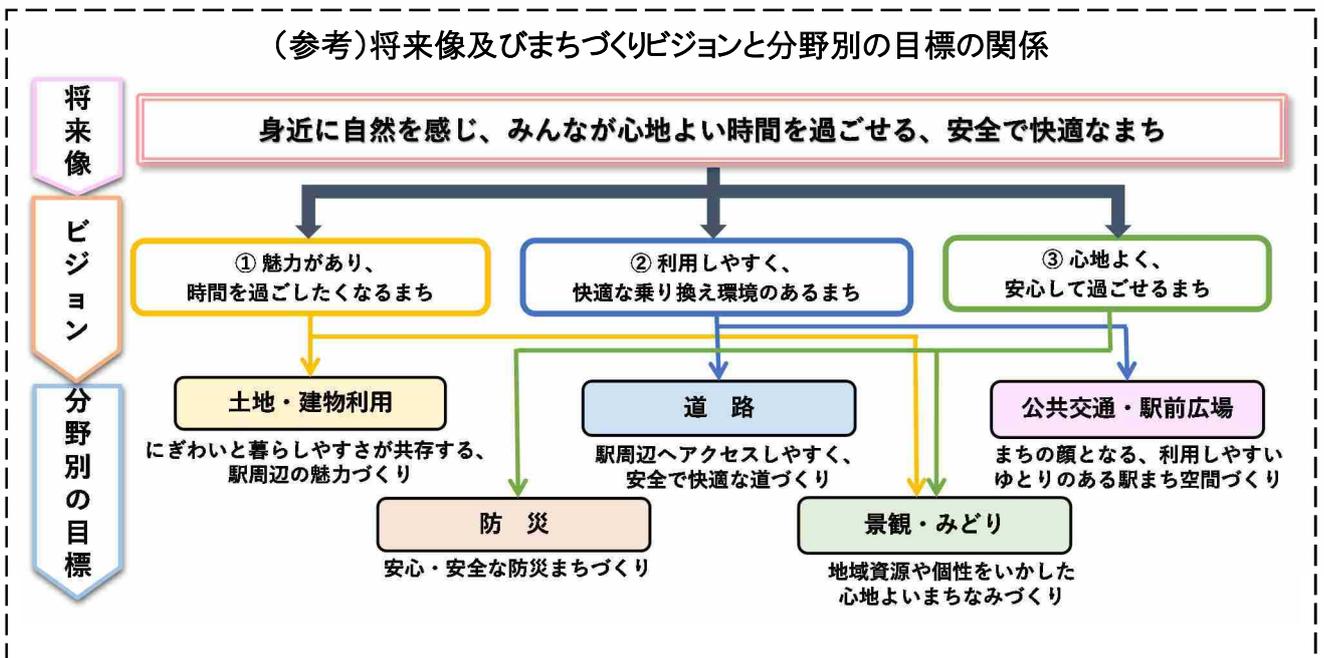


（4）分野別の方針

将来像及びまちづくりのビジョンの実現に向け、まちの現状と課題を整理した、5つの分野（テーマ）について、目標と方向性を示します。

分野別の目標と方向性

分野	目標	方向性	内容
土地・建物利用	にぎわいと暮らしやすさが共存する、駅周辺の魅力づくり	①地域の人、働く人、訪れる人を支える土地・建物利用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅周辺の魅力を高める施設の立地誘導 ● まちづくりに合わせた公共施設の適正配置の検討 ● 面的整備等によるまちづくりの検討
		②まちづくりが起きやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● まちのニーズ等に合わせた計画検討 ● まちづくりの機運づくり
道路	駅周辺へアクセスしやすく、安全で快適な道づくり	①駅へのアクセス性を高める道路づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 愛甲宮前交差点を中心とした道路の改良 ● 駅周辺の道路ネットワークの整備 ● ソフト対策の推進による交通混雑の改善
		②安全で快適な歩行空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> ● 壁面後退などによるゆとりある歩行空間の創出 ● デッキ等による利便性の向上 ● 駅周辺のバリアフリー化の推進 ● 生活道路等の整備
公共交通・駅前広場	まちの顔となる、利用しやすいゆとりのある駅まち空間づくり	①公共交通の利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 需要にあわせた安全で快適な駅空間の整備 ● 駅前広場での公共交通と一般車のすみわけ
		②駅とまちをつなぐ快適な駅前広場の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 必要な駅前広場面積の確保 ● 送迎バス乗降場の集約化
景観・みどり	地域資源や個性をいかした心地よいまちなみづくり	①公園・広場などの潤いある交流・滞留空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園・広場などのオープンスペースの充実
		②駅周辺のみどりの充実と地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅周辺の屋上緑化などの促進 ● 駅周辺のみどりの充実と維持管理 ● 地域資源をいかしたまちづくりの検討
防災	安心・安全な防災まちづくり	①駅周辺の安全な滞留空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時に利用できる安全な広場等の整備 ● 周辺企業との連携強化による一時滞在場所の確保
		②災害に強いまちづくりの促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時に対応できる都市基盤の強化 ● 災害に強い建物づくり ● 無電柱化の推進



関連する SDGs の目標



土地・建物利用

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

駅周辺の将来像（まちづくりの基本的な考え方）

にぎわいと暮らしやすさが共存する、駅周辺の魅力づくり

- ・現在の駅周辺は、駐車場等の低未利用地が多く駅近の立地条件をいかしきれていない状況です。
- ・今後は、駅周辺が地域の人生活を支え、働く人や訪れる人などの駅利用者が滞留できる場となるよう、駅直近の立地をいかした駅周辺の魅力づくりを進めることが重要です。

方向性① 地域の人、働く人、訪れる人を支える土地・建物利用の促進

- 駅利用者や地域の人にとって魅力ある駅周辺の形成を目指し、地域の人生活を支えたり、多様な駅利用者が滞留できる施設が立地するよう、面的整備*等のまちづくりを検討し、土地・建物利用を促進します。

● 駅周辺の魅力を高める施設の立地誘導

- ・コンパクト・プラス・ネットワーク推進計画（立地適正化計画）に掲げる誘導施設を始め、駅周辺の魅力を高める施設の立地を誘導します。

■ 区域において維持・誘導する施設

誘導区域	分類	誘導施設の設定	維持	誘導
愛甲石田駅周辺 (都市拠点)	商業機能	大規模小売店舗 (1,000 m ² 以上)	—	○
	教育・文化機能	大学・短期大学・専門学校・専修学校 (サテライトキャンパスを含む。)	—	○

● まちづくりにあわせた公共施設の適正配置の検討

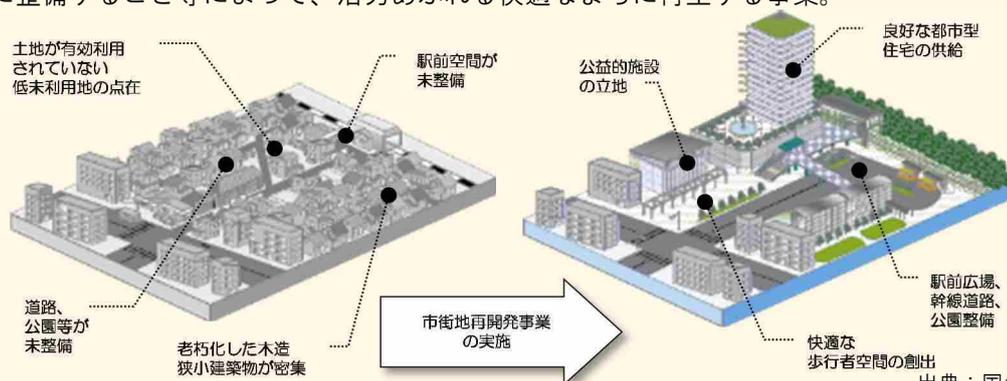
- ・アンケート等の結果を踏まえて、まちづくりなどにあわせて駅周辺等での市役所連絡所、自転車等駐車場、公民館等の既存公共施設の適正配置を検討します。

● 面的整備等によるまちづくりの検討

- ・駅周辺地域の魅力を高める計画的な土地・建物利用の立地を実現するため、市街地再開発事業*や土地区画整理事業などの面的整備も視野に入れて住民などとまちづくりの検討をしていきます。

市街地再開発事業

細かく分かれた土地を統合し、防災性を備えた共同の建築物に建替え、同時にオープンスペース等を一体的に整備すること等によって、活力あふれる快適なまちに再生する事業。



第1章

第2章

第3章

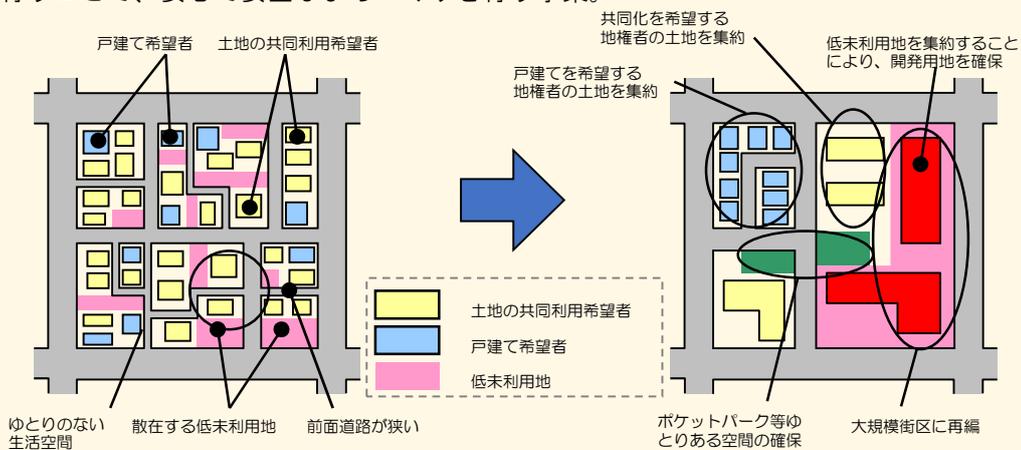
第4章

第5章

駅周辺の将来像（まちづくりの基本的な考え方）

土地区画整理事業

地区内の土地所有者の方々に土地の一部を出し合ってもらい、これによって生み出された新たな用地に、生活環境に必要な道路、公園等の公共施設の整備や、個々の宅地の条件を考慮しながら宅地の再配置を行うことで、安心して安全なまちづくりを行う事業。



出典：国土交通省 HP

方向性② まちづくりが起きやすい環境づくり

- まちのニーズ等にあわせて、都市計画の見直しなど、地域の課題を解決するまちづくり活動（開発事業等）を誘導します。
- 地域住民によるまちづくりの機運を高め、まちづくりが起きやすい環境づくりを推進します。

● まちのニーズ等にあわせた計画検討

・ まちのニーズや権利者のニーズなどを踏まえながら、容積率の変更やまちづくりのルールを定めるなど、地域住民と共に計画を検討します。

● まちづくりの機運づくり

・ まちづくりについて、住民に主体的に取り組んでいただくため、まちづくり協議会等を市が支援し、まちづくりの機運を高めます。

【イメージ】まちづくりの機運づくり

まちに対する住民の様々な考え

・ まちに対する考えや危機感が募り、それに共感する仲間が集まる。



市が住民主体のまちづくりを支援

・ まちに対する住民の様々な考えを把握し、まちづくりの手法などを一緒に勉強することによりまちづくりの芽を育てる。

住民 課題を解決するにはどうしたら...



行政 一緒に解決策を考えてみよう！



住民主体のまちづくりへ

・ 住民が主体となる協議会などの組織を立ちあげ、行政とともにまちづくりの検討を進めていく。

【住民】
協議会などの組織を立ち上げ、まちづくりについて検討を進める。

支援 ↑ 相談 ↓

【行政】
協議会などの立ち上げや、継続的な勉強会など、まちづくりを支援する。



道 路

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

駅周辺の将来像（まちづくりの基本的な考え方）

駅周辺へアクセスしやすく、安全で快適な道づくり

- ・ 駅周辺では、朝の通勤通学時間帯等で道路や歩行空間の混雑が発生しています。
- ・ 今後は、駅周辺にアクセスしやすい道路ネットワークの整備や、安全で歩きやすい歩行空間の確保などを進めることが重要です。

方向性① 駅へのアクセス性を高める道路づくり

- 駅周辺へのアクセス性向上のため、愛甲宮前交差点を中心とした道路の改良を検討します。
- 駅周辺における道路ネットワークの整備を推進するとともに、アクセス道路を検討します。
- ソフト対策の推進により、交通混雑を改善し、駅周辺へのアクセス性向上を図ります。

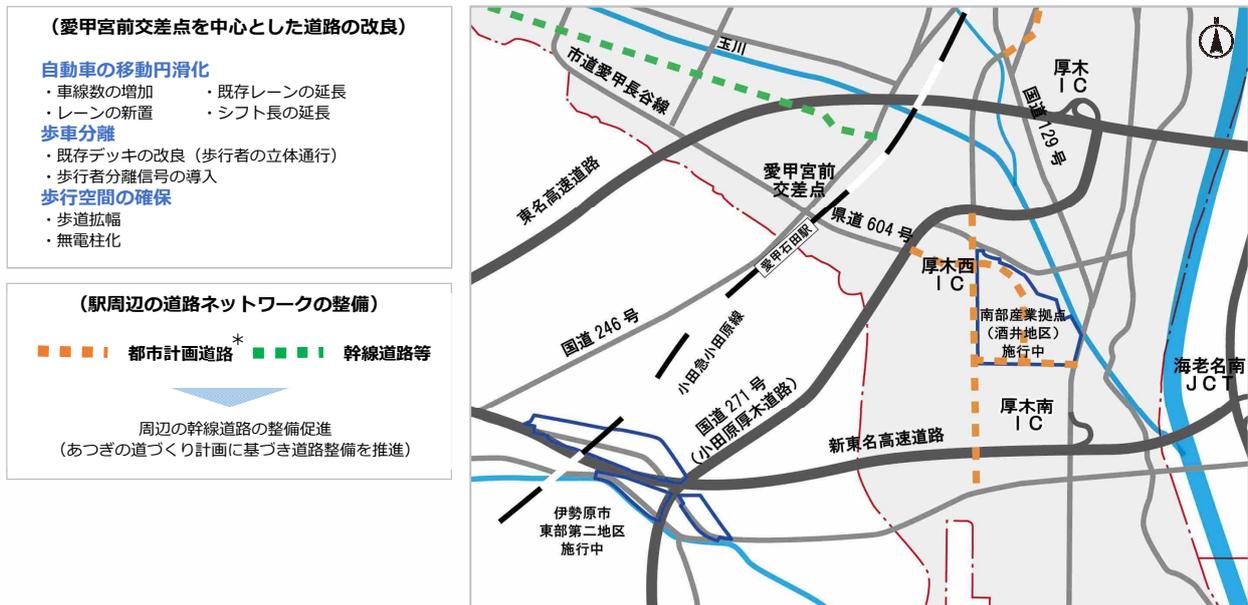
● 愛甲宮前交差点を中心とした道路の改良

- ・ 愛甲宮前交差点付近での交通混雑を改善するため、新たなレーンの設置などの交通対策を検討します。

● 駅周辺の道路ネットワークの整備

- ・ 駅周辺の幹線道路の整備を推進し、愛甲宮前交差点の通過交通を減らします。
- ・ まちづくりの中で、駅へのアクセス性を高める道路の新設や拡幅を検討します。

【イメージ】 駅周辺の交通対策



● ソフト対策の推進による交通混雑の改善

- ・ ハード整備だけでなく、企業への時差出勤、マイカー通勤の効率化などのソフト対策もあわせて促進することで交通混雑の改善を推進します。

交通需要マネジメント

交通需要マネジメントとは、交通関係のソフト対策の一つであり、道路利用者に時間、経路、交通手段や自動車の利用法の変更を促し、交通混雑の緩和を図る方法のこと。

自動車利用時間の変更

交通手段の変更

自動車の効率的利用

自動車利用経路の変更

自動車発生源の調整

方向性② 安全で快適な歩行空間の創出

- 歩道拡幅や沿道建物の壁面後退等により、歩きやすい歩行空間を創出します。
- さらに利用しやすい歩行者デッキとなるよう既存施設の改良や整備を検討します。

● 壁面後退などによるゆとりある歩行空間の創出

- ・まちづくりにあわせ、歩道拡幅などによる歩道空間の確保や、壁面後退の指定等を行い、ゆとりある歩行空間の充実を進めます。

● デッキ等による利便性の向上

- ・駅北口の既存歩行者デッキは、さらなる安全性や利便性、快適性の向上を目指し、デッキの改良を検討します。
- ・駅南口は、現在デッキ等がないことから、安全なデッキ等の整備を検討します。



壁面後退により広い歩行空間を確保した事例(本厚木ミハラス)

【イメージ】まちづくりにあわせたデッキ等による利便性の向上



愛甲石田駅北口の既存デッキ(令和2年10月撮影)

● 駅周辺のバリアフリー化の推進

- ・駅周辺では、だれもが安心安全かつ円滑に移動できるように、段差をなくし、エレベーターを整備するなど、歩行空間のバリアフリー化を推進します。

● 生活道路等の整備

- ・駅周辺の生活道路等において、幅員が狭く車同士のすれ違いが難しい道路や、歩道がない道路が存在することから、歩道の整備や、幅員4m以上の整備を推進します。



出典：国土交通省 HP
ユニバーサルデザイン*に配慮した駅前広場の事例(川崎駅(神奈川県川崎市))

関連する SDGs の目標



公共交通・駅前広場

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

駅周辺の将来像（まちづくりの基本的な考え方）

まちの顔となる、利用しやすいゆとりのある駅まち空間づくり

- ・愛甲石田駅は、通勤・通学にともない多くの人が行き交う、まちをつなぐ重要な場ですが、朝夕ピーク時には混雑も見られます。
- ・今後は、まちの顔となるシンボル空間として、利用しやすいゆとりのある駅空間や駅前広場づくりを一体的に進めることが重要です。

方向性① 公共交通の利用環境の向上

- 今後の駅利用者の動向を踏まえ、利用しやすい駅空間の整備を検討します。
- 駅前広場での公共交通と一般車の交通動線の錯綜を解消することなどにより、公共交通の利用環境の向上を目指します。

● 需要にあわせた安全で快適な駅空間の整備

- ・今後の駅利用者の動向を踏まえ、鉄道事業者とともに、安全で快適な魅力あふれる駅空間の整備を検討します。



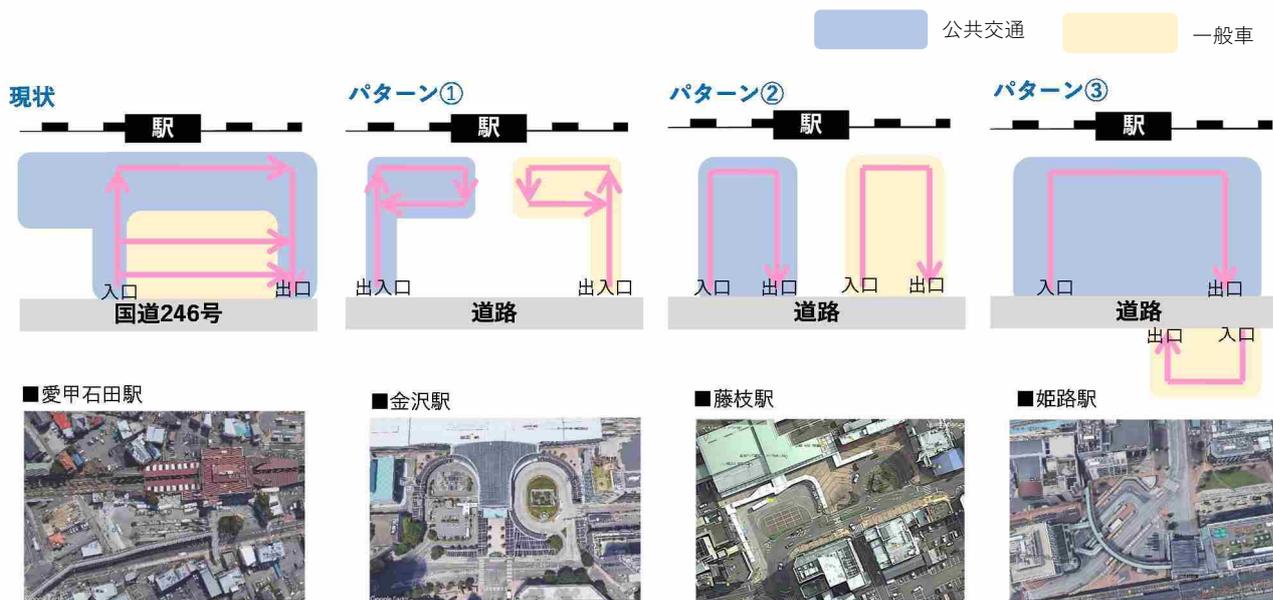
出典：国土交通省 HP

待合空間の整備事例
（中村駅（高知県四万十市））

● 駅前広場での公共交通と一般車のすみわけ

- ・北口駅前広場内では、バスやタクシーなどの公共交通の動線と一般車の動線を分離することを検討します。
- ・令和3年度の暫定整備により、公共交通と一般車の錯綜は一部解消しましたが、本整備に向けて引き続き検討を進めます。

【イメージ】公共交通と一般車のすみわけ



出典：GoogleEarth

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

方向性② 駅とまちをつなぐ快適な駅前広場の整備

- 一般車の送迎需要や将来的な交通手段の動向を踏まえつつ、各交通手段の快適な乗り換えを実現するための駅前広場の整備を検討します。
- 駅周辺に立地する企業や、病院等の施設利用者の送迎バスの利用環境を高めるため、関係者等の意向も踏まえながら送迎バス乗降場の集約化を検討します。

● 必要な駅前広場面積の確保

- ・北口駅前広場は、連節バスなど様々な交通手段の乗り換えや待ち合わせが快適にできるようにするため、十分な駅前広場面積を確保します。
- ・駅南口では、駅の乗り換え環境を向上させるため、まちづくりとあわせて駅前広場整備を検討します。



ゆとりのある駅前広場の事例
（海浜幕張駅(千葉県千葉市)）

● 送迎バス乗降場の集約化

- ・駅周辺では多くの送迎バスが運行されており、今後も開発により企業による送迎バス需要が増加することが予想されることから、駅前広場空間の確保とあわせて送迎バス乗降場の集約化を検討します。

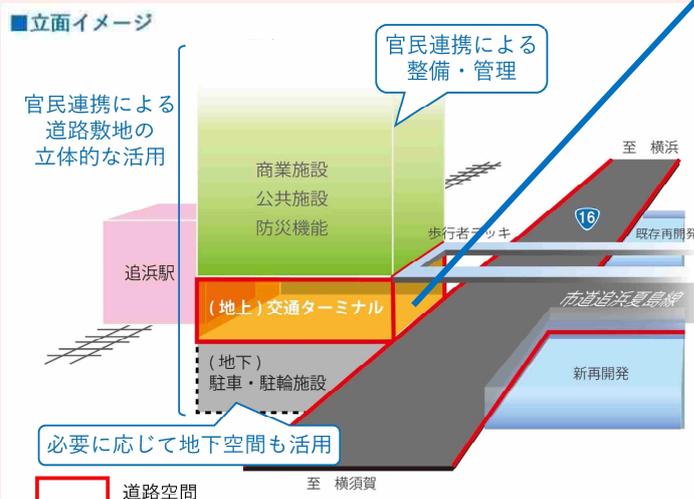


送迎バス乗降場の事例
（海老名駅(企業送迎車両ターミナル)）

バスタプロジェクト（追浜駅（神奈川県横須賀市））

バスタプロジェクトは、鉄道やバス、タクシーなど、多様な交通モードがつながる集約型の公共交通ターミナルを、官民連携で整備するプロジェクトである。

追浜駅では、駅周辺の交通円滑化と交通事故削減を実現するため、駅前広場を拡張して、分散しているバスとタクシーの乗降場の集約を目指している。



＜駅前空間の立体的活用＞

- 1階部分は道路空間とし、交通ターミナルを整備
- 2階以上の部分は交流機能（公共施設）・市街地拠点機能（商業施設）等として整備
- 必要に応じて地下空間の活用も検討

空間を立体的に活用することで、交通機能・交流機能・市街地拠点機能・防災機能を階層的に配置

出典：横浜国道事務所 HP

駅周辺の将来像（まちづくりの基本的な考え方）

関連する SDGs の目標



景 観・みどり

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

駅周辺の将来像（まちづくりの基本的な考え方）

地域資源や個性をいかした心地よいまちなみづくり

- ・ 駅周辺からは、大山等の山並みを眺望できるなど、郊外のゆとりが感じられる一方、駅周辺には利用できる公園・広場が少ない状況にあります。
- ・ 今後は、公園・広場などのオープンスペースの充実を図り、みどりや景観、歴史・文化などの地域資源を適切に保存・活用し、心地よいまちなみづくりを進めることが重要です。

方向性① 公園・広場などの潤いある交流・滞留空間の創出

- 駅周辺の潤いを感じられる交流・滞留空間として、みどりや景観、歴史・文化などの地域資源を取り込んだ新たな公園・広場等の整備や既存公園の機能充実などを検討します。

● 公園・広場などのオープンスペースの充実

- ・ まちづくりの中で、公園や広場などの人々が交流したり滞留したりできるオープンスペースの整備を検討します。



出典：国土交通省 HP
駅直近のオープンスペースの事例
(南池袋公園(東京都豊島区))

方向性② 駅周辺のみどりの充実と地域資源の活用

- 駅周辺ではみどりやグリーンインフラ*の充実を図り、適切な維持管理方法を検討します。
- 地域資源である大山等の山並みが見える場所や通りなどは、駅周辺のシンボル景観として、景観誘導によりその眺望の確保や調和に努めます。
- 寺社や古墳、大山街道等の歴史・文化などの地域資源については、引き続き保存に努めます。

● 駅周辺の屋上緑化などの促進

- ・ 駅周辺の潤い豊かな空間づくりに向けて、建物等の屋上緑化などを促進します。



屋上緑化の事例
(厚木市屋上緑化補助金)

● **駅周辺のみどりの充実と維持管理**

- ・ まちの玄関口として、駅周辺の植栽など、みどりの充実を図ります。
- ・ 生産緑地地区*や斜面緑地（丘や台地のみどり）などの良好な緑地の保全に努めます。
- ・ 市民協働などによる適正な維持管理ができる仕組みづくりを検討します。



市民協働による美化活動の事例
（厚木市道路里親制度）

● **地域資源をいかしたまちづくりの検討**

- ・ 駅周辺からの大山を始めとする山並みへの眺望は、アンケートや市民からの意見でも満足度が高いことから、その眺望やまちの個性をいかしたまちなみを確保します。
- ・ 駅周辺の寺社や古墳等の歴史・文化などの地域資源については、引き続き保存に努めます。



出典：姫路市 HP

眺望デッキを整備し、新たなビュースポットを確保した事例
（姫路駅（兵庫県姫路市））

愛甲大塚古墳

全長は約 80～90mの前方後円墳であり、4世紀ごろに造られたものと思われる。相模川右岸では最大規模であり、県内でも有数の規模を誇る古墳である。



愛甲大塚古墳



出典：あつぎの文化財獨案内



防 災

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

駅周辺の将来像（まちづくりの基本的な考え方）

安心・安全な防災まちづくり

- ・ 駅周辺は多くの人が行き交う場ですが、災害時の一時退避機能は十分とは言えない状況です。
- ・ 近年の豪雨災害や首都直下型地震等への備えを駅周辺でも取り組んでいくことが重要です。

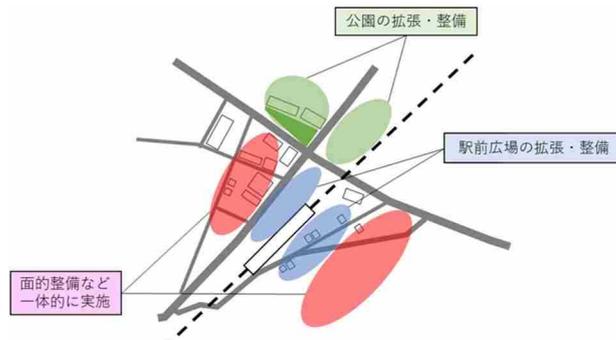
方向性① 駅周辺の安全な滞留空間の確保

- 駅周辺において、駅利用者等が発災後一時的に滞在することのできる滞留空間の充実を図ります。
- 駅周辺の避難場所及び帰宅困難者向け一時滞在施設を継続して確保していきます。

● 災害時に利用できる安全な広場等の整備

- ・ 駅周辺に、災害時などに一時的に滞在することのできる広場や施設の整備を検討します。
- ・ 駅前広場や公園、周辺のまちづくりとあわせて一体的に検討します。

【イメージ】駅周辺の滞留空間



● 周辺企業との連携強化による一時滞在所の確保

- ・ 駅周辺の避難場所及び帰宅困難者向け一時滞在施設を継続して確保していきます。

帰宅困難者用一時滞在施設

本市では、万が一、市内で外出しているときに帰宅困難となった場合に備え、帰宅困難者用一時滞在所の指定を行っており、愛甲石田駅周辺では、日産自動車(株)テクニカルセンター(約200人)と(株)アマダ(約200人)が指定されている。(日産自動車(株)テクニカルセンターへの移動は愛甲石田駅からバスを想定。)

※帰宅困難者用一時滞在所とは別に、徒歩帰宅者等に対し災害時に一時休憩スペース、飲料水、トイレ、テレビ及びラジオ等による災害情報の提供などの支援を行う災害協定を事業者と締結している。



方向性② 災害に強いまちづくりの促進

- 狭あい道路の解消等の都市基盤の整備を推進し、建物の耐震化や不燃化などの防災まちづくりを促進します。
- 発災時において円滑な避難と消防活動ができるよう、災害時の通行空間の確保に努めます。

● 災害時に対応できる都市基盤の強化

- ・ 駅周辺の狭あい道路や内水浸水の解消など、災害に強い都市基盤の整備を進めます。
- ・ 駅周辺での備蓄倉庫の確保等により、地域の災害対応力の強化を図ります。



出典：内閣府 HP

備蓄スペースがない一時滞在施設のために、駅施設内の倉庫に食料等を備蓄した事例（仙台駅（宮城県仙台市））

● 災害に強い建物づくり

- ・ まちづくりの中で、建物の耐震化や不燃化を促進します。
- ・ あわせて、非常用電源や水害対策など、高い防災性能を備えた建物の整備を促進します。



出典：松本市 HP

● 無電柱化の推進

- ・ 災害時の電柱倒壊による交通への支障を防ぐため、まちづくりにあわせて駅周辺道路の無電柱化を推進します。



出典：横浜国道事務所 HP

駅周辺市街地において無電柱化を実施した事例（横浜市保土ヶ谷区（国道16号））

（5）土地利用方針

土地利用は、次の5つのゾーン（エリア）に分け、ゾーンごとに方針を定めます。

にぎわい創出ゾーン

商業業務機能を中心とした、にぎわいを創出するゾーン

交通機能強化ゾーン

交通機能を集約し、交通結節点として強化を図るゾーン

駅周辺環境向上ゾーン

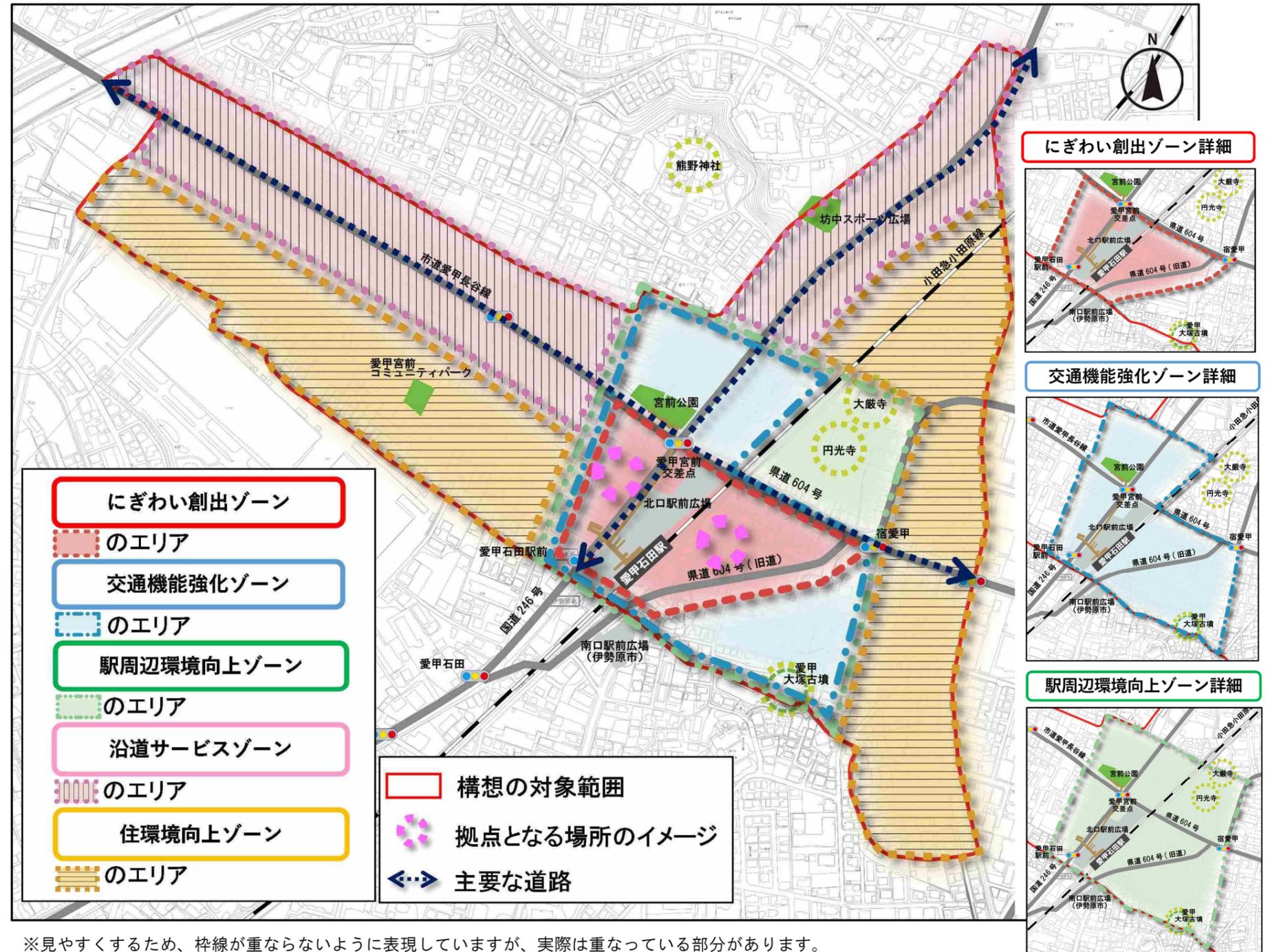
緑化を推進し、心地よく過ごせる駅周辺の環境を向上させるゾーン

沿道サービスゾーン

主要な道路の沿道に、地域の生活を支える多様な機能を誘導するゾーン

住環境向上ゾーン

快適な歩行環境などを整備し、利便性の高い市街地の形成を図るゾーン



交通機能強化ゾーン

交通機能を集約し、交通結節点として強化を図るゾーン

- 駅前広場など、交通結節点として強化を図ります。
- 公共交通と分離した一般車乗降場や、送迎バス乗降場の集約化を検討します。

○範囲



○イメージ

□ 利用しやすい駅前広場(北口)

□ 利用しやすい駅前広場(南口)



駅周辺環境向上ゾーン

緑化を推進し、心地よく過ごせる駅周辺の環境を向上させるゾーン

- 緑化などを推進し、駅前景観を向上させます。
- 既存の公園、緑地や地域資源などをいかして、駅周辺環境を向上させます。
- 防災備蓄倉庫や災害時の一時滞在スペースなどを検討します。

○範囲



○イメージ

- 人が集まる
駅周辺のオープンスペース

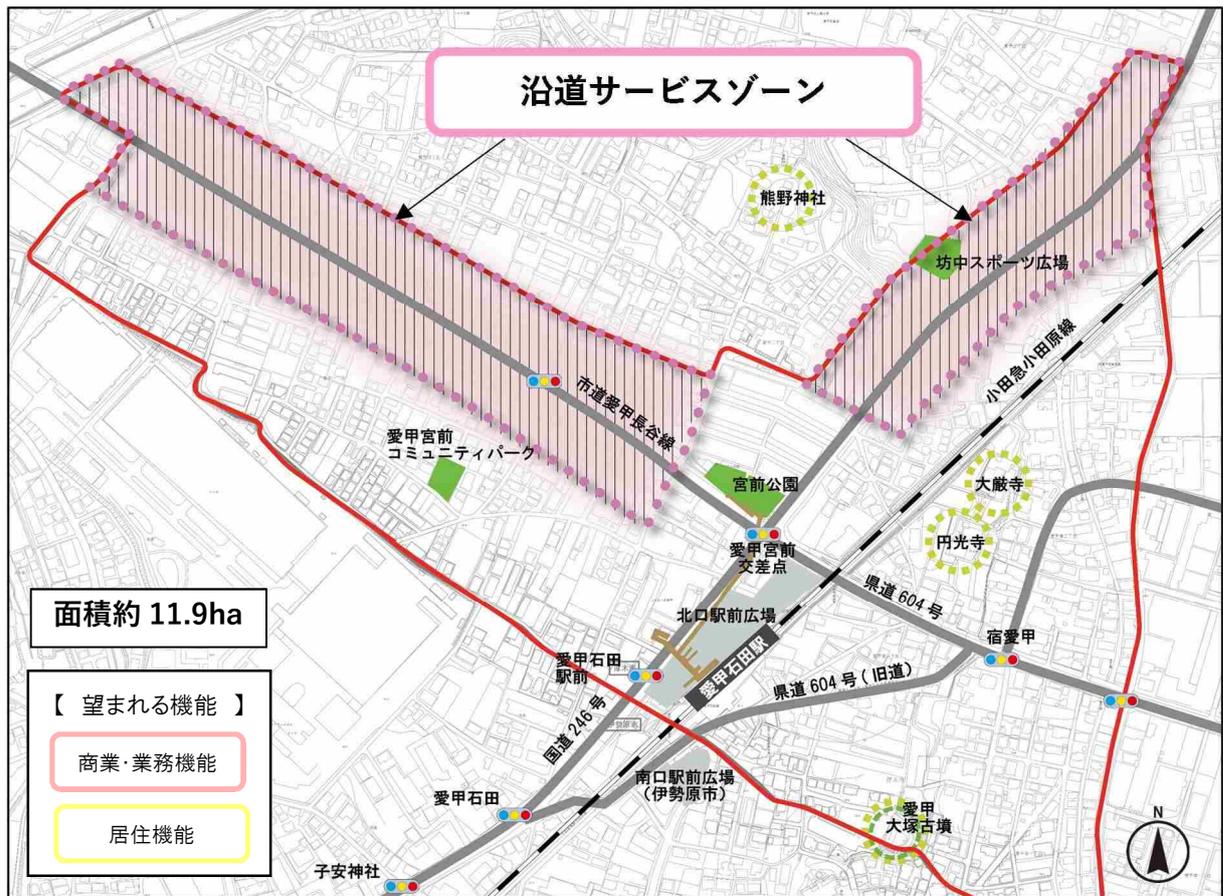


沿道サービスゾーン

主要な道路の沿道に、地域の生活を支える多様な機能を誘導するゾーン

- ▶ 沿道利用を中心に、地域の生活を支える多様な機能(飲食店や生活利便施設など)の立地を誘導します。

○範囲



○イメージ

- 沿道店舗が立地する駅周辺の幹線道路

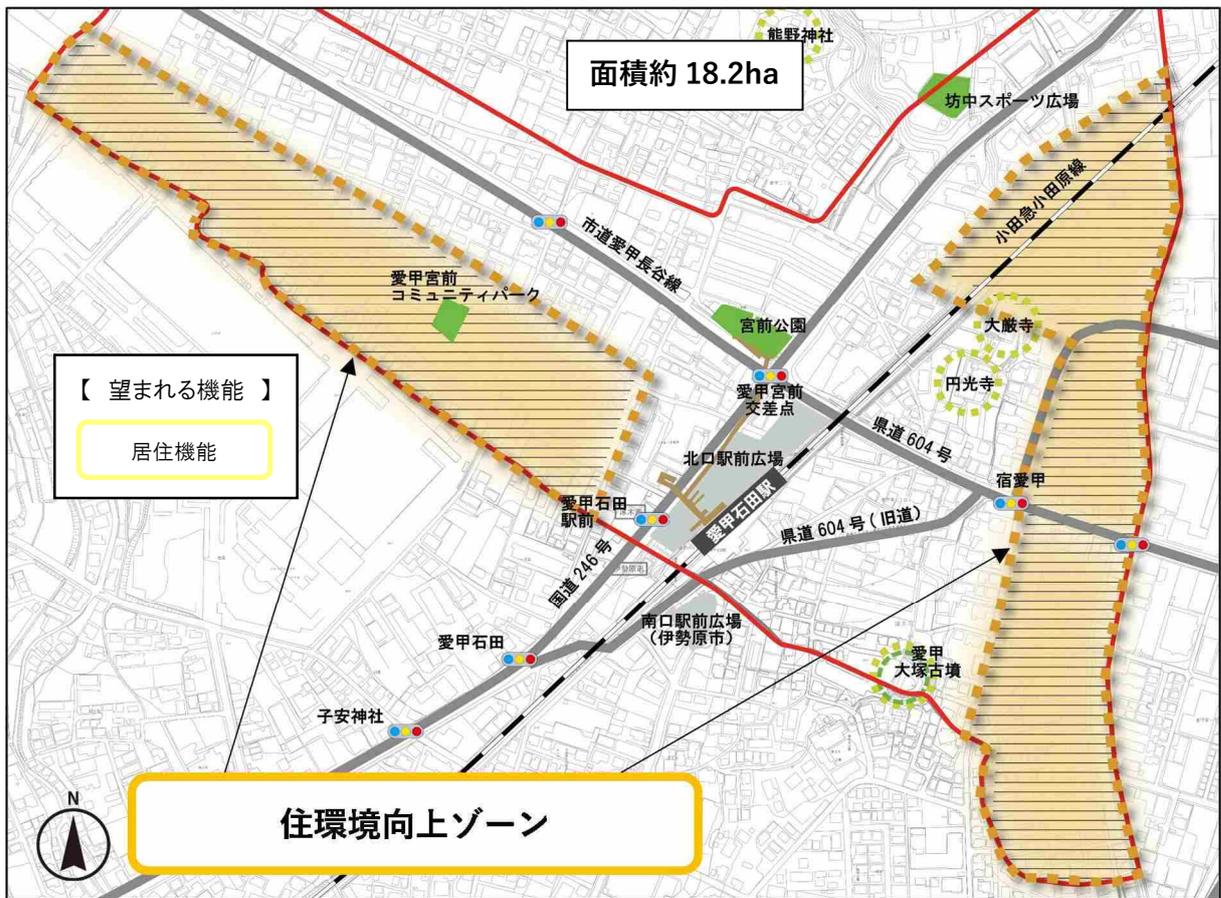


住環境向上ゾーン

快適な歩行環境などを整備し、利便性の高い市街地の形成を図るゾーン

- 狭あい道路の解消や歩道の整備などを促進し、快適で利便性の高い市街地の形成を図ります。

○範囲



○イメージ

- 安全で快適な住宅地



